



障がい者・健常者を問わず様々な情報提供可能なインフラ コード化点字ブロックを活用した AI 音声誘導システム

技術分野分類 1204：知能情報学

技術キーワード (2) 機械学習、(6) 知能情報処理、(7) 自然言語処理

産業分類 G39：情報サービス業、L73：広告業、P85：社会福祉事業

内 容	概 要	視覚障がい者向けの点字ブロックにコードを付し、AI を活用した音声誘導システムによって地域情報を提供することで視覚障がい者の歩行課題軽減、なおかつ健常者（特に観光客や外国人）にとっても地域情報（エリア情報、災害避難情報等）を取得可能なインフラを構築することができる。
	従来技術・ 競合技術 との比較 (優位性)	歩行者移動支援サービスとしてはGPSが用いるものがあるが、利用者の位置精度や方向性及びコストの面で課題がある。本システムは、点字ブロックを活用することで、これらの問題をすべて解決している。また、障がい者のみでなく健常者へも様々なサービス（障がい者支援・観光・宣伝）が提供可能である。
	本技術の 有用性	既存の点字ブロックを活用することで、設置コスト・メンテナンスコストが非常に低く抑えることができる。また、サーバー側で任意の音声案内を設定することができ、障がい者支援から地域・観光情報、災害避難情報、商業CMまで様々なサービスに応用することが可能である。
関連情報 (図・表・写真等)		
適用可能製品		各種（障がい者支援・観光情報・災害避難情報・商業CM等）案内情報（音声・動画）の提供とそれに付随するサービス。
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	松井 くにお 金沢工業大学工学部情報工学科・教授
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	学校法人金沢工業大学 産学連携局研究支援推進部 076-248-9504/076-248-9508 kitor@kanazawa-it.ac.jp

■知的財産 特許 2019-129611

「位置情報付コード化点字ブロックを用いた情報提供装置」

■試作品状況 無 提示可 提供可

作成日 2020 年12月3日